

# 砂浜を駆け回り 元気にスマッシュ

## 川崎で初のビーチテニス

川崎初のビーチテニス大会公式戦が八、九

日本ビーチテニス協会（JBTA、東京都

の両日、川崎市川崎区東扇島の人工海浜や、今月オープンした川崎マリエン内のビーチバレー場などで開かれた。真っ黒に日焼けした選手たちが潮風に舞うボールを懸命に追い掛けていた。



港区)の主催で、今年から始まった「JBTA

川崎で初開催されたビーチテニスの公式戦＝川崎区で

Aツアー2009オープンビーチテニス大会」の公式戦。ビーチテニスには2人1組のペアで対戦し、通常のテニスとは違い、相手陣内にボールを落とすと得点になる。参加した延べ224人はラケットを手に砂浜を駆け回ったり、横っ跳びをしてボールを打ち込んでいた。

川崎港への誘客を図ろうと、市も大会を後援し、十月十、十一日のツアー最終戦も再び川崎で開催される予定。JBTAの山田真幹会長は「川崎は東京に近く運営しやすい。集客力があるスポーツに育てていきたい」と話した。

(堀祐太郎)